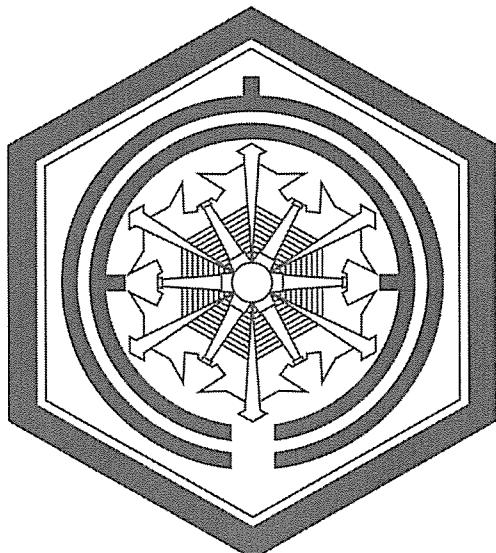


平成 26 年

消防年報



歌志内市消防本部

## は　し　が　き

1. この年報は、歌志内市における消防現況並びに平成26年中の消防業務の諸資料及び火災統計の集録、消防事情の紹介など、今後の火災予防及び消防行政推進の資料とすることを目的として編集したものです。
2. この年報は、平成26年12月末日現在で集録したものですが、統計表等については、その推移を明らかにするため、過去数カ年を対比してまとめました。・

平成27年3月

歌志内市消防本部

# 目 次

## 歌志内市の現況と消防の沿革

1. 地 勢	1 頁
2. 気 象	1 頁
3. 月別気象状況表	2 頁
4. 人口・世帯数	3 頁
5. 市勢に対する消防現勢との比較	3 頁
6. 人口・世帯の推移	3 頁
7. 歌志内市消防の沿革	4 頁
8. 平成26年行事記録表	7 頁

## 消防力の現勢

1. 消防組織	10 頁
(1) 消防機構	10 頁
(2) 消防職員階級別表	11 頁
(3) 消防職員配置表	11 頁
(4) 消防職員年齢別表	12 頁
(5) 消防職員勤続年数表	12 頁
(6) 消防職員教養訓練状況	13 頁
(7) 消防職員技能資格調	13 頁
(8) 消防団員定員実員状況	14 頁
(9) 消防団員勤続年数表	14 頁
(10) 消防団員年齢別表	15 頁
(11) 消防団員任免状況	15 頁
2. 消防施設	16 頁
(1) 消防機械	16 頁
① 消防車両現勢一覧表	16 頁
② 消防機器積載状況	17 頁
③ 特殊器具等一覧表	18 頁
(2) 消防無線	19 頁
① アナログ無線	19 頁
② デジタル無線	20 頁
(3) 水利現勢	21 頁
(4) 消防庁舎	21 頁
(5) 消防職員住宅	21 頁
(6) 通信施設系統図	22 頁
(7) 通信・気象観測施設	23 頁

(8) 緊急通報システム	-----	24頁
① ふれあいネットワーク（消防センター）	-----	24頁
② 発信種別通報	-----	24頁
③ 処理別回数	-----	24頁

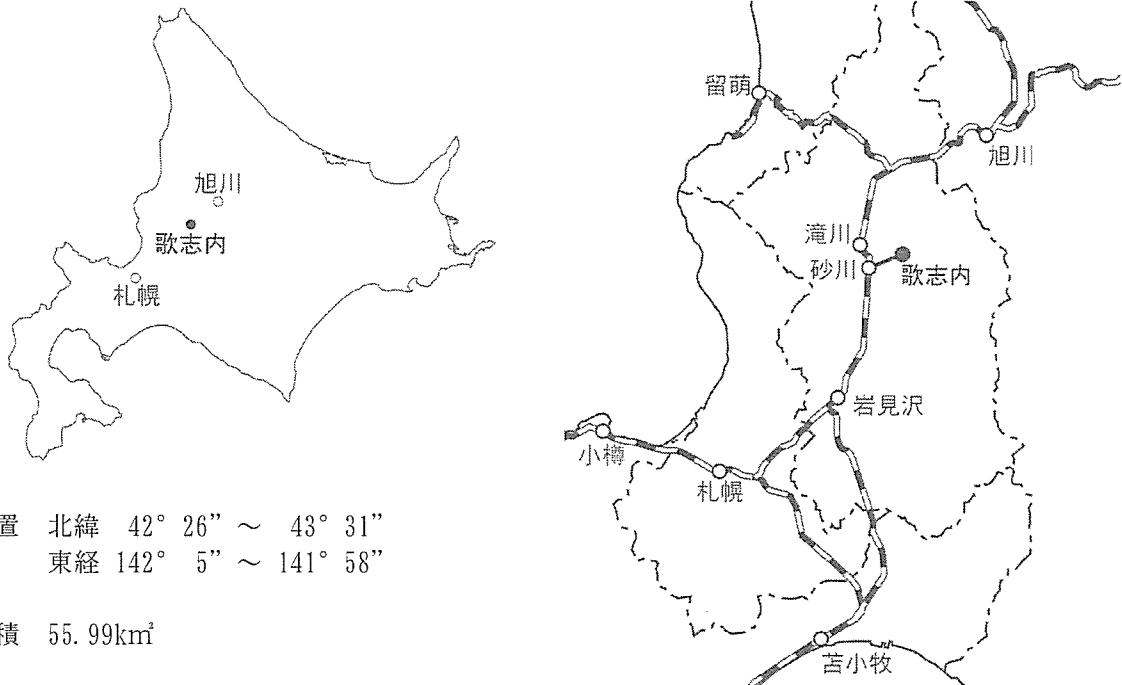
## 火災と救急・救助

1. 火災概況	-----	25頁
(1) 平成26年火災記録	-----	26頁
(2) 既往10カ年月別火災発生状況	-----	27頁
(3) 既往10カ年火災状況	-----	28頁
(4) 既往10カ年原因別出火件数	-----	28頁
(5) 既往10カ年時間帯別火災発生状況	-----	29頁
(6) 既往10カ年曜日別火災発生状況	-----	29頁
2. 救急概況	-----	30頁
(1) 月別救急出場状況	-----	31頁
(2) 時間別救急出場状況	-----	32頁
(3) 曜日別救急出場状況	-----	32頁
(4) 年齢・性別搬送状況	-----	33頁
(5) 事故種別・性別搬送状況	-----	33頁
(6) 地区別発生状況	-----	33頁
(7) 傷病程度別搬送状況	-----	33頁
(8) 救急隊員の行った応急処置件数	-----	34頁
(9) 覚知別受信状況	-----	34頁
(10) 医療機関別搬送状況	-----	34頁
(11) 担当科別搬送状況	-----	34頁
(12) 既往5カ年事故種別出場状況	-----	35頁
(13) 普通救命講習会実施状況	-----	35頁
(14) 一般救急講習会実施状況	-----	35頁
3. 救助概況	-----	36頁

## 予防行政

1. 月別建築同意・通知処理状況	-----	37頁
2. 消防業務処理状況	-----	38頁
3. 防火管理者業務状況	-----	39頁
4. 危険物製造所等現在数調	-----	39頁
5. 危険物規制事務手数料	-----	39頁
6. 防火広報活動	-----	40頁

## 歌志内市の現況と消防の沿革



## 1. 地 勢

歌志内市は石狩平野の東北隅の山麓地帯にあって、周囲は芦別市、赤平市、砂川市、上砂川町の4市町に接している。

この流域は夕張山脈の北に当たり、山岳地帯に源を発して西流するペンケウタシュナイ川とこの川に注ぐ小流の占める流域を北部とし、南部は西山を主峰とするペンケウタシュナイ川以南の山岳地帯に分けることができる。

東部および南部は最南端に位置するペンケ山を主峰とし、他の600メートル前後の山々と、これらを結ぶ山脈を境として芦別市に接し、北部は赤平山、神威岳を境とし赤平市に接している。

また西部および西南部は次第に開けて砂川市および上砂川町に隣接している。

## 2. 気 象

歌志内市の属している本道中央部は、世界の気象帯からいえば温帶の北限あるいは亜寒帯に属し本邦の気象形成区分上は裏日本型である。

冬季は湿潤寒冷であるが、夏季は温暖で春より初夏にかけて乾燥し、晩夏から秋は比較的雨が多い。

年間を通じ当市の気温は空知管内の平均に近いが、寒暖の差がかなり大きい。

風は地形上から年間を通じ穏やかで西寄りの風が多く、やや内陸性をおびている。

また、降水（雪）量も山間のため管内の他市町より量が多い。

なお、平成26年の気象状況は次表のとおりである。

3. 月別気象状況表

種別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温 (°C)	最高	4.7	6.3	12.2	23.6	30.4	34.0	30.2	31.0	27.1	21.2	15.5	7.7
	最低	-21.7	-23.5	-19.1	-7.1	0.4	7.8	13.3	7.8	4.1	-3.7	-6.2	-17.8
	平均	-7.5	-6.4	-2.2	3.9	12.5	18.2	21.1	20.9	15.2	7.8	3.0	-4.4
湿度 (%)	相対	最低	37.9	28.9	16.7	14.6	13.6	16.9	30.3	31.1	30.2	20.5	33.7
	実効	平均	78.5	73.1	69.9	60.4	64.7	69.9	71.2	73.6	76.4	76.2	77.2
	最大 (10分平均)	73.5	70.1	65.1	50.6	56.4	53.3	64.0	67.0	69.9	70.7	64.4	64.7
風速 (m/sec)	速	最大	2.2	2.7	2.9	3.3	3.4	3.9	4.1	5.0	3.1	2.6	7.5
	平均	0.3	0.5	0.6	0.6	0.8	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.6	0.5
	最多	風向	西北西	西	西北西	南東	東南東	北西	南東	東南東	西	西北西	東南東
晴雨日数 (日)	晴	10	14	16	17	12	16	20	13	8	13	10	2
	曇	13	10	8	9	16	13	8	14	16	13	12	15
	雨	0	0	1	2	3	1	3	4	6	5	5	1
降雪量 (cm)	雪	8	4	6	2	0	0	0	0	0	0	0	13
	降水量 (mm)	303	112	134	23	0	0	0	0	0	1	53	301
降雨量 (mm)		0	0	4.5	26.5	67	93	269.5	207	141.5	92.5	52	11

#### 4. 人口・世帯数

人 口	男 1,768 人	3,833 人
	女 2,065 人	
世 帯 数		2,143 世帯

#### 5. 市勢に対する消防現勢との比較

種 別	区 分	消防職員 1 人当	消防団員 1 人当	消防車 1 台当
人 口	166.7 人	75.2 人	958.3 人	
世 帯	93.2 世帯	42.0 世帯	535.8 世帯	
面 積	2.4 km <sup>2</sup>	1.1 km <sup>2</sup>	14.0 km <sup>2</sup>	

#### 6. 人口・世帯の推移

年 別	区 分	人 口	世 帯	消防職員数	備 考
平成 3 年		8,175	3,284	28	
平成 4 年		7,953	3,242	28	
平成 5 年		7,658	3,194	28	
平成 6 年		7,459	3,144	28	
平成 7 年		6,901	2,982	28	
平成 8 年		6,665	3,044	28	
平成 9 年		6,519	3,037	29	
平成 10 年		6,356	3,018	28	
平成 11 年		6,236	2,995	28	
平成 12 年		6,118	2,973	27	
平成 13 年		5,977	2,942	28	
平成 14 年		5,846	2,880	28	
平成 15 年		5,726	2,853	28	
平成 16 年		5,560	2,797	28	
平成 17 年		5,361	2,745	27	
平成 18 年		5,200	2,693	26	
平成 19 年		4,989	2,594	24	
平成 20 年		4,792	2,510	25	
平成 21 年		4,644	2,456	24	
平成 22 年		4,467	2,377	23	
平成 23 年		4,308	2,303	23	
平成 24 年		4,178	2,262	23	
平成 25 年		4,033	2,216	23	
平成 26 年		3,833	2,143	23	

## 7. 歌志内市消防の沿革

### 一 消防組時代 一

- 大正12年 明治33年7月歌志内市街の全焼。明治44年5月の大山火事等過去の災害が消防組設置の機運を盛り上げ、4月1日歌志内消防組が設置された。  
なお、すでに中村、文珠方面に中村青年団、神威方面に自彊青年団が組織され火災時にはこれらが消火に当たった。
- 大正14年 8月、私立中村実業消防組設立。
- 大正15年 8月、私立神威消防組設立。
- 昭和3年 5月、フォード1929型ガソリンポンプ購入。
- 昭和4年 4月、私立中村実業消防組、私立神威消防組が合併し公立神威消防組が発足した。
- 昭和11年 歌志内消防設備委員代表の寄付採納願により機械置場火の見櫓を設置した。
- 昭和13年 4月、従来の消防機械に更に機動力を持たせ防火の万全を期すため、フォード37年型自動車ポンプを購入。
- 歌志内消防組、機械器具置場に2馬力サイレン設置。

### 一 警防団時代 一

- 昭和14年 勅令を以って警防団が公布され、4月1日歌志内警防団（2部、3分団、345名）が発足した。
- 昭和15年 自動車の運転と機械操作のため常備消防員2名が任命された。
- 昭和16年 警防団第2部（神威）消防庁舎を新築、サイレンを設置した。
- 昭和17年 警防団第1部（歌志内）消防器具設置場として消防庁舎の上棟式を行った。
- 昭和19年 警防団（歌志内）サイレン塔屋を新設、警報用サイレン10馬力を設置した。

### 一 自治体消防時代 一

- 昭和22年 勅令を以って消防団令が公布され、警防団を廃止して7月1日歌志内消防団、神威消防団を結成した。
- 昭和26年 消防体制強化のため4月1日消防本部を設置し、初代消防長に加藤正雄が就任した。
- 昭和30年 歌志内消防団条例が施行され、歌志内、神威消防団を統合、12月1日歌志内消防団を結成した。
- 昭和32年 消防長加藤正雄が退任し、二代消防長に町助役菅原真が就任した。
- 昭和34年 市勢に対応するため消防署を設置、神威方面を所轄区域にする神威分遣所を設置した。
- 昭和36年 神威分遣所庁舎、鉄筋コンクリート造り2階建を新築した。
- 昭和38年 石炭産業界合理化のため解団した北炭消防団の所轄区域維持のため東光一区に分所を設置した。
- 昭和41年 消防力強化のため日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈された。
- 消防本部庁舎、鉄筋コンクリート造り2階建を新築した。
- 昭和42年 消防本部並びに消防署設置条例を改正し、神威分遣所を出張所に東光分所を分遣所とし、従来の3係を総務、予防、警防、機械の4係とした。
- 昭和43年 市立病院配置救急車が消防本部配置となり5月15日より救急業務を開始した。
- 昭和44年 消防団の団結、規律技能優秀により日本消防協会より表彰旗を授与された。

昭和45年	消防長菅原真が退任し、三代消防長に消防署長鈴木信雄が就任した。
昭和46年	住友歌志内礦閉山に伴い住友消防団第1、3分団が解団し、第2分団は上歌分団として歌志内消防団に編入された。
昭和50年	12月1日、台風6号及び集中豪雨の水防功労により消防団に北海道知事より表彰状が授与された。
昭和51年	11月1日、所轄区域の人口激減のため東光分遣所廃止、12月5日団員の転勤等により分団運営困難なため上歌分団が解団した。
昭和52年	消防長鈴木信雄が退任し、四代消防長に市助役森永大が就任した。
昭和54年	消防吏員待機宿舎（一棟4戸）を新築した。
昭和55年	消防長森永大が退任し、五代消防長に市助役池田鉄雄が就任した。
昭和56年	12月29日、消防本部の組織等に関する規則を一部改正し総務、予防、警防、機械係を総務、予防、保安、警防の4係とした。
昭和60年	消防長池田鉄雄が退任し、六代消防長に市助役河原敬が就任した。
昭和62年	消防長河原敬が退任し、七代消防長に消防署長黒田豊が就任した。
昭和63年	歌志内市名誉消防団員規程を制定した。 歌志内市婦人防火クラブ設立。 消防力強化のため日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈された。
平成元年	4月1日、消防本部並びに消防署の組織に関する規則を一部改正し総務、予防、保安、警防係を総務、予防、保安、警防、救急、消防団係の6係とした。 一般社団法人日本自動車工業会より、救急自動車1台寄贈された。
平成3年	コミュニティ助成事業（自主防災組織育成助成事業）により、歌志内市婦人防火クラブ員の制服等を整備した。
平成4年	歌志内市婦人防火クラブ活動資器材として、日本消防協会より軽可搬消防ポンプ1台寄贈された。 独居老人等災害弱者の突発的な事態発生時に、迅速な救急・救助体制を図るため災害弱者緊急通報システム「ふれあいネットワーク」の運用を開始した。
平成5年	歌志内市消防創立70周年記念式典挙行。
平成6年	6月1日、老人など災害弱者に対する防火指導や火災予防のPR活動を強化するため、女性消防団員5名を採用した。
平成9年	ふるさと消防団活性化事業により歌志内市消防団の訓練用資機材を整備した。
平成10年	消防長黒田豊が退任し、八代消防長に消防署長菊池剛が就任した。 消防団の地域防火思想の普及、災害防ぎよ活動の功績により北海道知事より表彰旗が授与された。
平成12年	応急処置の充実、救命率のアップを図ることを目的とし高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を整備した。 5月1日、救急救命士による救急業務の運用を開始。
平成13年	防火思想の普及、災害防ぎよ活動の功績により消防庁長官より歌志内市消防本部及び歌志内市消防団に竿頭綬が授与された。
平成15年	消防長菊池剛が退任し、九代消防長に消防署長澤田季孝が就任した。
平成16年	7月24日、歌志内市消防団北海道消防操法訓練大会（小型ポンプの部）優勝。 歌志内市消防署神威出張所を歌志内市消防署神威分遣所に機構改革した。 火災統計資料の明確な昭和22年以降初めて、年間無火災記録を達成。

- 平成17年 携帯電話からの119番通報直接受信運用開始。
- 平成18年 5月14日、歌志内市防火管理者連絡協議会、歌志内市危険物安全協会が統合し、歌志内市防火安全協会が設立された。
- 歌志内市消防署組織の機構改革に基づき、歌志内市消防署神威分遣所を廃止し、歌志内市消防団神威分団詰所を設置。
- 歌志内市消防団神威分団詰所の無人化に伴い、歌志内市消防本部にサイレン吹鳴遠隔装置を設置。
- 平成19年 4月1日、歌志内市行政機構全体の見直しに伴い、消防本部並びに消防署の組織等に関する規則を一部改正し係制からグループ制とした。
- 5月1日、歌志内分団、神威分団を第1分団、第2分団と改めた。それに伴い、歌志内市消防団神威分団詰所を歌志内市消防団第2分団詰所とした。
- 気象観測装置の老朽化等により一部観測ができなくなったため、7月20日、「空知産炭地域整備事業助成金」を活用し、新たに気象観測装置を整備し、8月1日より運用開始した。
- 10月1日、消防本部並びに消防署の組織等に関する規則を一部改正し、総務・消防団グループ、予防・保安グループ、警防・救急グループの3グループとした。
- 「民間防火組織等の防火・防災普及啓発推進助成事業」及び「女性消防隊による安全で災害に強い地域づくり推進事業」により、歌志内市婦人防火クラブ員のスラックス、軽可搬ポンプ、防火広報用資器材等を整備した。
- 「住宅用火災警報器設置促進活動等支援助成金」により、パネル、住宅用火災警報器を整備した。
- 平成20年 住宅用火災警報器の普及促進に係る事業実施にあたっての「地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金制度」により、市内独居老人宅に住宅用火災警報器の設置促進を図った。
- 平成21年 消防長澤田季孝が退任し、十代消防長に主幹（総務・消防団グループ担当）西丸強が就任した。
- 平成23年 3月7日、一般社団法人日本自動車工業会より寄贈された救急自動車を高規格救急自動車に更新し、高規格救急自動車を2台体制とした。
- 3月25日、東日本大震災緊急消防援助隊北海道隊第5次派遣隊として、宮城県石巻市に職員3名を派遣した。
- 10月13日、歌志内市字本町1027番地55の旧ショッピングセンター、鉄骨・鉄筋コンクリート造地下1階付平屋建を改修し、新消防本部庁舎として運用を開始した。
- 10月26日、東日本大震災による緊急消防援助隊派遣により消防本部に全国消防長会会長より表彰状が授与された。
- 11月9日、東日本大震災による緊急消防援助隊派遣により消防本部に総務大臣より表彰状が授与された。
- 火災統計資料の明確な昭和22年以降2度目の年間無火災記録を達成。
- 平成24年 3月26日、老朽化した広報車を指揮広報車として更新した。
- 平成25年 2月15日、老朽化した消防3号車を更新した。
- 11月29日、老朽化した消防5号車を更新した。
- 平成26年 12月11日、老朽化した搬送車を広報搬送車として更新した。

## 8. 平成26年行事記録表

月	日	行 事	内 容	備 考
1.	5	出初式		
	9 ~ 10	防火対象物立入検査		
	18	団本部団員老人家庭防火指導		
	30	全国消防長会北海道支部道央地区協議会住宅用火災警報器設置対策連絡会出席	江別市	
	31	北海道消防協会空知地方支部第2回総会出席	岩見沢市	
2.	6	普通救命講習会		
	13	三次検証部会事業「中空知救急集団災害研修会」出席	赤平市	
	13 ~ 18	防火対象物立入検査		
	15	新時代に対応した消防団運営方策の普及に係る講座出席	岩見沢市	
	16	消防団独居老人家庭除雪		
	26	落雪による検索・救助訓練		
3.	5 ~ 19	防火対象物立入検査		
	7	「消防記念日」における署出動放水救助訓練		
	10	空知地区林野火災予防対策協議会出席	岩見沢市	
	13	精神科救急医療体制整備事業道央（空知）ブロック調整会議出席	"	
	14	三次検証部会事業「中空知合同救急症例検討会」出席	歌志内市	
	20	北海道消防協会第2回定期役員会出席	札幌市	
	27	第52回道央ドクターへり事例検討会出席	"	
4.	16 ~ 28	防火対象物立入検査		
	18	北海道消防協会空知地方支部中空知分会第1回常任理事会及び総会出席	雨竜町	
	20	春の火災予防運動（4月30日迄）		
	"	防火パレード		
	23	高速道路上の事故等を想定した合同連携訓練見学	岩見沢市	
	"	歌志内市婦人防火クラブ定期総会		
	24	倒木伐採訓練		
	"	歌志内市防火安全協会定期総会		
	25	全国消防長会北海道支部総会出席	札幌市	
	"	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練推進協議会第2回北海道実行委員会出席	"	
	26	防火座談会		
	28	消防署出動救助訓練		
	30	北海道消防協会空知地方支部第1回役員会・総会出席	滝川市	
	"	中空知救急連絡協議会実務担当者打合せ会議出席	"	
	"	歌志内市婦人防火クラブ防火訪問		
5.	2	消防署出動救助訓練		
	7	空知消防長会第1回定期例会出席	岩見沢市	
	12 ~ 13	防火対象物立入検査		
	22	北海道危険物安全協会連合会通常総会出席	札幌市	

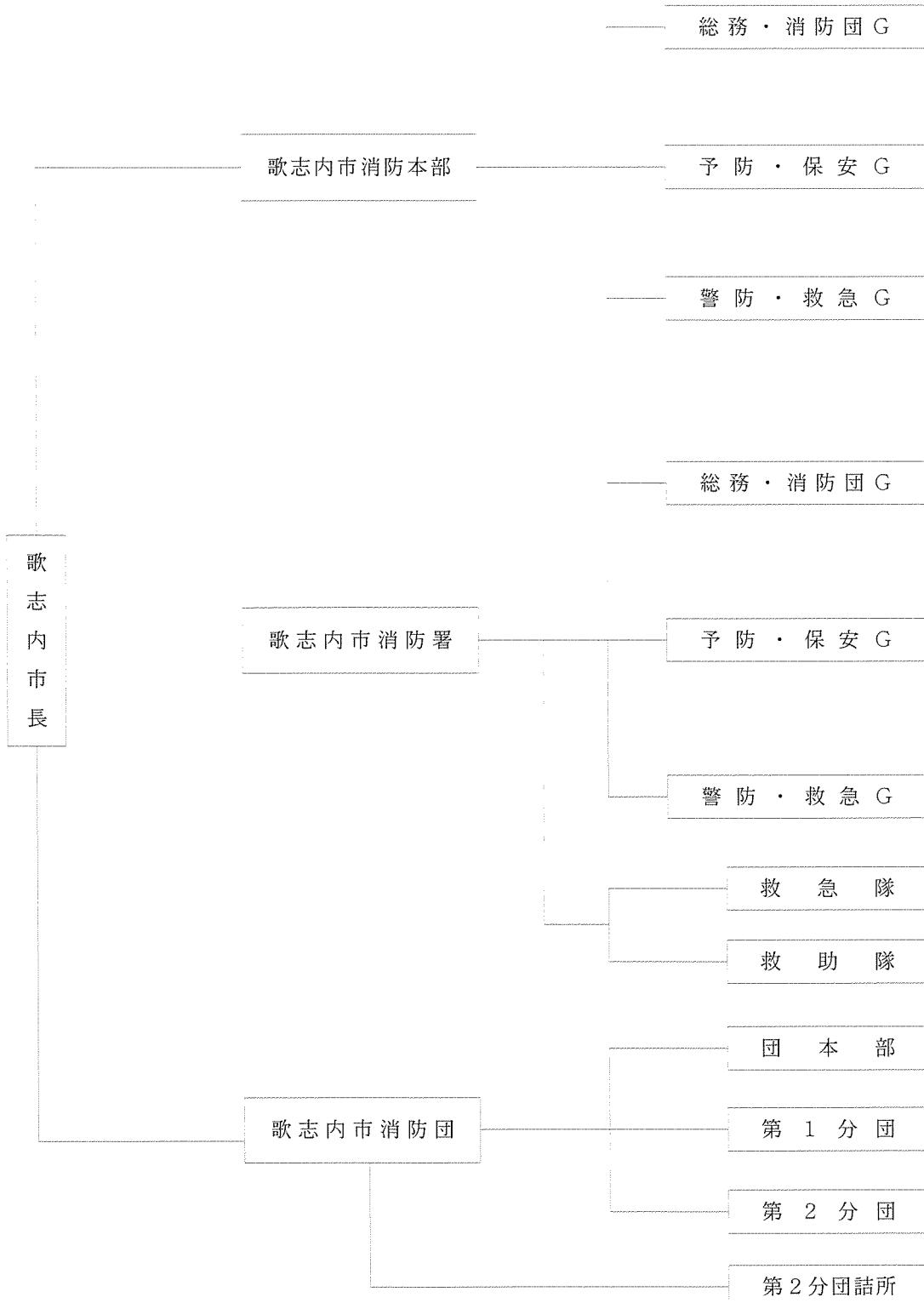
月	日	行 事	内 容	備 考
5.	23	第25回北海道救急医学会救急隊員部会総会及び救急隊員部会研修会出席		札幌市
	"	空知地方道路防災連絡協議会情報共有化ワーキンググループ会議出席		滝川市
6.	5	北海道消防学校校友会空知支部役員会出席		"
	8	消防演習		
9 ~ 17		防火対象物立入検査		
	11	栄典事務担当者初任者研修会出席		札幌市
12 ~ 17		危険物製造所等立入検査		
	15	滝川駐屯地創立59周年記念行事出席		滝川市
	19	調査技術会議出席		札幌市
	26	一般救急講習会		
	"	全国消防長会北海道支部総務関係実務研修会出席		札幌市
	27	北海道消防協会定時評議員会及び臨時理事会出席		"
7. 8 ~ 30		防火対象物立入検査		
	"	危険物製造所等立入検査		
	10	全国消防長会北海道支部警防委員会出席		中標津町
	11	全国消防長会北海道支部道央地区協議会第1回違反是正推進連絡会出席		小樽市
	13	北海道消防協会空知地方支部中空知分会連合消防演習参加		滝川市
	18	北海道消防操法訓練大会出席		江別市
	26	一般救急講習会		
	28	一般救急講習会		
8.	11	自殺対策関係者学習会出席		滝川市
	14	歌志内市婦人防火クラブ街頭広報実施		
14 ~ 27		防火対象物立入検査		
	18 ~ 22	危険物製造所等立入検査		
	21	安全運転管理者講習会出席		赤平市
	22	中空知救急連絡協議会実務担当者打合せ会議出席		滝川市
	30	第66回北海道消防大会出席		上富良野町
9.	1	消防団合同非常招集訓練		
5 ~ 24		防火対象物立入検査		
	6	北海道消防協会空知地方支部中空知分会正副団長研修会出席		上砂川町
	12	「救急の日」「救急医療週間」講演会出席及び実技指導		砂川市
	13	普通救命講習会		
	"	女性消防団員交流会出席		芦別市
	18	全国消防長会北海道支部企業防災対策研修会出席		札幌市
	22	危険物安全協会地区連絡協議会（ブロック会議）出席		滝川市
	25	一般救急講習会		
	26	一般救急講習会		

月	日	行	事	内	容	備 考
9.	29		全国消防長会北海道支部道央地区協議会第1回住宅用火災警報器設置対策連絡会出席			岩見沢市
10.	7		全国消防長会北海道支部消防法違反是正事例発表会出席			札幌市
	9		空知消防長会第2回定例会出席			美唄市
	10		消防署・消防団合同出動放水訓練			
14 ~ 27			防火対象物立入検査			
	"		危険物製造所等立入検査			
	15		秋の火災予防運動(10月31日迄)			
	17		消防署出動放水救助訓練			
	21		全国消防長会北海道支部道央地区協議会第2回総会出席			泊村
	"		北海道小児救急地域医師研修会出席			砂川市
	27		一般救急講習会			
	29		一般救急講習会			
30 ~ 31			市町村防災研修会出席			札幌市
11.	4		広域圏災害対処図上訓練見学			滝川市
	7		北海道消防協会空知地方支部中空知分会第2回常任理事会出席			新十津川町
10 ~ 12			防火対象物立入検査			
	"		危険物製造所等立入検査			
	11		空知総合振興局雪害対策連絡会議出席			岩見沢市
	13		空知消防長会事務主管者会議			三笠市
	15		防火座談会			
	19		赤穂地区被害者支援連絡協議会総会出席			赤平市
	25		防火座談会			
	26		全国消防長会北海道支部消防長研修会出席			札幌市
12.	4		北海道消防協会空知地方支部第2回役員会出席			滝川市
	5		災害図上訓練指導者養成講習会出席			江別市
	6		団本部団員老人家庭防火指導			
	10		空知地区三次研修会出席			岩見沢市
15 ~ 19			防火対象物立入検査			
	20		一般救急講習会			
	"		団本部団員歳末防火広報			
	25		歳末警戒(12月31日迄)			
	"		中空知救急連絡協議会実務担当者打合せ会議出席			滝川市
	29		消防団歳末警戒			

# 消 防 力 の 現 勢

## 1. 消防組織

### (1) 消防機構



(2) 消防職員階級別表

区分	階級	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
	定 員	階 級	別 定	員	な し			2 7
実 員	1	4	7	5	4	2	2 3	

(3) 消防職員配置表

所 属	階 級	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
	( ) 兼務者							
歌	消 防 長	1						1
志	次 長		1					1
内	主 幹		3					3
市	総務・消防団 G			2	2	2		6
消	予防・保安 G			2	2	1		5
防	警防・救急 G			3	1	1		5
本	部 計	1	4	7	5	4		21
部	署 長		(1)				(1)	0
署	主 幹		(3)				(3)	0
歌	総務・消防団 G							0
志	予防・保安 G					1		1
内	警防・救急 G					1		1
市	計	0	(4) 0	0	0	0	2 (4) 2	
消	合 計	1	(4) 4	7	5	4	2 (4) 23	
防								
署								

(4) 消防職員年齢別表

階級 年齢	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
20歳未満							0
20～25						2	2
26～30					4		4
31～35				4			4
36～40			3				3
41～45				1	1		2
46～50			2				2
51～55	1	4	1				6
56歳以上							0
合 計	1	4	7	5	4	2	23
平均年齢	53.0	54.0	44.0	35.8	28.5	22.5	39.8

(5) 消防職員勤続年数表

階級 年数	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
5年未満						2	2
5～10					2		2
11～15			1	4	2		7
16～20			1	1			2
21～25			2				2
26～30							0
31年以上	1	4	3				8
合 計	1	4	7	5	4	2	23
平均勤続年数	35.0	35.3	24.3	14.0	8.5	1.5	19.7

(6) 消防職員教養訓練状況（既往5ヵ年）

科 目	年 別					合 計
	22年	23年	24年	25年	26年	
北 初 任 教 育	1			1		2
救 急 科		1				1
海 救 助 科			1			1
道 薬 剤 投 与 講 習	1					1
消 気管挿管再認定講習		4	1			5
消 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡		2	2	2		6
防 気管挿管認定講習						
防 危 險 物 科		2				2
学 火 灾 調 査 科			1			1
校 予 防 査 察 科	1	1			1	3
校 幹 部 科		1		1	1	3
札 帰 市 消 防 学 校		1		1		2
現 場 指 挥 課 程						
札 帰 市 消 防 学 校				1		1
指 挥 隊 員 養 成 課 程						
合 计	2	4	9	7	6	28

(7) 消防職員技能資格調

資格の別	階 級						合 計
	司 令 長	司 令	司 令 补	士 長	副 士 長	消 防 士	
自 大型 第 2 種	1						1
動 大 型			1				1
車 中 型		7	4	3			14
運 普通(中型8t未満)	1	3		1			5
轉 免 普 通					2		2
免 許 大 型 特 殊			1				1
小 型 車両系建設機械特別教育		2					2
安 全 運 転 管 理 者	1						1
ボ イ ラ ー 技 士 2 級				1			1
第 2 級陸上特殊無線技士	1	1	1				3
第 3 級陸上特殊無線技士				2			2
危 險 物 取 扱 者 乙 種	1	3	1	4			9
消 防 設 備 士 乙 種		2	1	1			4
救 急 救 命 士		1	3	2	1		7
救 急 隊 員 資 格 取 得 者	1	4	6	2	2	1	16
酸 素 欠 乏 危 險 作 業 主 任 者		3	1			1	5
硫 化 水 素 危 險 作 業 主 任 者			1			1	2
伐 木 作 業 者			1				1
防 災 士			1	1			2
検 定 簿 記 1 級				1			1
検 定 簿 記 2 級		1	1			1	3
検 定 簿 記 3 級		1	1				2

(8) 消防団員定員実員状況

分団名	階級	團	長	副團長	分團長	副分團長	部	長	班	長	團	員	合計	
団本部	定員	1	2	1			1	2	7	1	4			
	実員	1	2	1			1	2	7	1	4			
第1分団	定員				1	1	3	6	1	2	2	3		
	実員				1	1	3	5	9	1	9	1	9	
第2分団	定員				1	1	3	6	1	2	2	3		
	実員				1	1	3	4	9	1	8			
合計	定員	1	2	3	2		7	1	4	3	1	6	0	
	実員	1	2	3	2		7	1	1	2	5		5	1

(9) 消防団員勤続年数表

年数	階級	團	長	副團長	分團長	副分團長	部	長	班	長	團	員	合計
1年未満												2	2
1～5												1	8
6～10												1	4
11～15												4	
16～20												1	6
21～25												1	
26～30												2	
31～35					2							8	
36～40				2								2	
41年以上		1		1			1		1			3	
合計		1	2	3	2		7	1	1	2	5	5	1
平均勤続年数		51.0	40.0	37.0	30.5	30.3	17.6	4				15.9	

(10) 消防団員年齢別表

階級 年齢	團長	副團長	分團長	副分團長	部長	班長	團員	合計
20歳未満							0	
20～25						2	2	
26～30						2	2	
31～35						2	2	
36～40					3	5	8	
41～45					2	7	9	
46～50					1	1	2	
51～55					2	1	6	9
56～60					2	2		4
61歳以上	1	2	3	2	3	2		13
合計	1	2	3	2	7	11	25	51
平均年齢	76.0	72.5	67.7	64.5	62.1	51.1	39.4	50.7

(11) 消防団員任免状況

区分	分団名	團本部	第1分団	第2分団	合計
実員		14	19	18	51
任免	採用	0	1	1	2
	退職	0	4	1	5
	昇任	0	0	0	0
	異動	0	0	0	0

2. 消防施設  
 (1) 消防機械  
 ① 消防車両現勢一覧表

区分 所属	車両種別	車両名	型式	年式	エンジン	水筒	放水量(ℓ/分)	噴射級別	ノズル口径(mm)	登録番号	全幅(m)	全高(m)	定員(名)	経過年数			
消防	タンク車(3号車)	日野 SDG-GX7JGAA改	2013	5	6,400	日本機械	R 3	A2	2,232	1,500	札幌801ま	3	7.23	2.30	2.95	6	1
	タンク車(5号車)	日野 SDG-GX7JGAA	2013	5	6,400	吉谷機械	F 5	A2	2,244	2,500	札幌801な	5	7.27	2.30	2.95	5	1
防	救急1号車	日産 CBF-FPWGE50改	2011	6	3,490						札幌800そ	1174	5.64	1.90	2.47	7	3
	救急2号車	三菱 KK-FG500EB改	2000	6	5,240						札幌800さ	5879	5.34	1.81	2.71	7	15
署	指令車	トヨタ GF-RZJ 95W	2002	4	2,690						札幌830あ	119	4.70	1.82	2.19	5	12
	指揮広報車(1号車)	トヨタ CBF-TRH226K	2012	4	2,690						札幌800そ	2375	5.38	1.88	2.47	9	2
防	ポンプ車(2号車)	三菱 KC-FG538D	1996	4	4,560	日本機械	R 3	A2	2,200		札幌88	4004	5.58	1.89	2.67	10	18
	ポンプ車(6号車)	三菱 KC-FG538D	1997	4	4,560	日本機械	V3000	A1	2,860		札幌88	5910	5.60	1.88	2.70	6	17
国	広報搬送車(7号車)	トヨタ CBF-TRH228B	2014	4	2,690						札幌800み	7000	5.38	1.88	2.45	10	0

## ② 消防機器積載狀況

区分	車両種別	無線機	電動式フロントワインチ	起伏伸縮式照明灯	圧縮空気泡消火装置	消防栓	火消用	作業器具	救助マット	救助器具	急救具	防護服	マリチ型ガス検知器	自動体外式除細動器	自動心マッサージ器	担架	担架	ギアス	
消	防	署	消	防	署	消	防	署	消	防	署	消	防	署	消	防	署		
消防車(3号車)	タシク車	うたしょう3	4	消防車(5号車)	タシク車	うたしょう5	1	消防車(1号車)	うたしょうきゅう1	1	消防車(2号車)	うたしょうきゅう2	2	消防車(6号車)	うたしょう6	1	消防車(1号車)	うたしょう1	2
防衛署	救急車	うたしょう1	1	防衛署	うたしょう2	1	防衛署	うたしょう2	1	防衛署	うたしょう3	2	防衛署	うたしょう6	1	防衛署	うたしょう1	2	
国	指揮車	うたしょう1	1	国	指揮車	うたしょう2	2	国	指揮車	うたしょう6	1	国	指揮車	うたしょう1	2	国	指揮車	うたしょう7	

③ 特殊器具等一覧表（車載分含）

保 安 機 器

品 名	数 量	備 考
発 電 機	4	
可 燃 性 ガス 検 知 器	1	
携 帯 拡 声 器	7	
炭 化 深 度 計	3	
騒 音 計	1	
超 音 波 厚 さ 計	1	

救 急 資 器 材

品 名	数 量	備 考
患 者 監 視 装 置	1	DYNASCOPE
自 動 体 外 式 除 細 動 器	3	MRX、MRXE、FR2
自 動 心 マ ッ サ ー ジ 器	2	ルーカスII、サンバー
血 圧 計	4	携帯 2、デジタル 2
輸 液 セ ッ ト	2	輸液ポンプ・翼状針・留置針・駆血帶・輸液
気 道 確 保 用 資 器 材	5	LM、LT、スマウェイWB、コンピューブ、気管挿管チューブ
吸 引 器	2	tote CUBE-vac、BOSCAROL
喉 頭 鏡 セ ッ ト	5	喉頭鏡 4、ビデオ喉頭鏡 1
携 帯 血 中 酸 素 飽 和 度 測 定 器	2	マシモRad57、ハンドヘルド・パルスオキシメータ3401
オ ゾ ン 殺 菌 装 置	2	オゾン水生成器・オゾンガス発生器
脊 柱 固 定 用 資 器 材	4	バックポート 2、レスキューポート 2

救 助 器 具

品 名	数 量	備 考
エ ア 一 カ ッ タ 一	1	
エ ア 一 ソ 一	1	
可 搬 式 ウ イ ン チ	1	
救 助 マ ッ ト	1	
バスケットストレッチャー	1	
マット式空気ジャッキ	1	
マルチ型ガス検知器	2	XP-302M-A-3、XP-302M-A-2
防 護 服	11	
ロープレスキューリング機材	1	
油圧 救 助 器 具	ス プ レ ッ ダ 一 カ ッ タ 一 パ ワ ー ユ ニ ッ ト ホ ー ス リ ー ル	1 1 1 1 チェーンセット

そ の 他

品 名	数 量	備 考
泡 消 火 原 液	500 ℥	合成界面活性剤(2600)・水成膜泡消火薬剤(2400)
ク ラ ス A 泡 消 火 薬 剂	40 ℥	
油 処 理 剤	189 ℥	スノーラップ
油 吸 着 マ ッ ト	295 枚	
組 立 水 槽	2	
チ エ ン ソ 一	5	エンジン仕様 4、AC100V仕様 1
土 の う	6,000 枚	本部 4,000枚、分団詰所 2,000枚

(2) 消防無線

①アナログ無線

呼出名称	種別	常置場所	周波数		送信出力	開局年月日	備考
			全国共通波	市町村波			
うたしょう	基地局	歌志内市消防本部	○	○	10W	S35. 5. 10	
	固定局	"	○	-	"	S61. 12. 25	
" 1	陸上移動局	"	○	○	"	S35. 5. 10	
" 2	"	"	○	○	"	S47. 2. 22	
" 3	"	"	○	○	"	S51. 9. 16	
" 5	"	"	○	○	"	"	
" 6	"	歌志内市消防団 第2分団詰所	○	○	"	S47. 2. 22	
" 7	"	"	○	○	"	"	
" きゅうきゅう 1	"	歌志内市消防本部	○	○	"	H11. 12. 14	
" きゅうきゅう 2	"	"	○	○	"	S35. 5. 10	
" しれい	"	"	○	○	"	S47. 7. 22	
" 11	"	"	○	○	"	S39. 8. 4	
" 12	"	"	○	○	"	S47. 2. 22	
" 13	"	"	○	○	5W	S57. 9. 22	
" 14	"	"	○	○	"	"	
" 15	"	"	○	○	"	"	
" 16	"	"	○	○	"	S58. 11. 29	
" 17	"	"	○	○	"	S58. 8. 30	
" 18	"	歌志内市消防団 第2分団詰所	○	○	1W	"	
" 19	"	歌志内市消防本部	○	○	5W	H15. 5. 12	

※市町村波周波数～152.81MHz

## ②デジタル無線

呼出名称	種別	常置場所	周波数			送信出力	開局年月日	備考
			1統	1主	活動			
			制	運	動			
			3波	7波	波			
うたしないしょうぼう	基地局	歌志内市役所	○	—	—	20W	H25. 3. 22	
うたしょうかはん 1	陸上移動局	歌志内市消防本部	○	○	—	10W	H25. 2. 26	
うたしょう 1	"	"	○	○	—	"	"	
" 2	"	"	○	○	—	"	"	
" 3	"	"	○	○	—	"	"	
" 5	"	"	○	○	—	"	"	
" 6	"	歌志内市消防団 第2分団詰所	○	○	—	"	"	
" 7	"	"	○	○	—	"	"	
" きゅうきゅう 1	"	歌志内市消防本部	○	○	—	"	"	
" きゅうきゅう 2	"	"	○	○	—	"	"	
" しれい	"	"	○	○	—	"	"	
うたしょうけいたい 1	"	"	○	○	—	5W	"	
" 2	"	"	○	○	—	"	"	
" 3	"	"	○	○	—	"	"	
" 4	"	"	○	○	—	"	"	
" 5	"	"	○	○	—	"	"	
" 6	"	"	○	○	—	"	"	
" 7	"	"	○	○	—	"	"	
" 8	"	"	○	○	—	"	"	
" 9	"	"	○	○	—	"	"	
" 10	"	"	○	○	—	"	"	
" 11	"	"	○	○	—	"	"	

(3) 水利現勢

地区別	種 別		防 火 水 槽		地上式消火栓	
	40 m <sup>3</sup> ～100 m <sup>3</sup> 未満	20 m <sup>3</sup> ～40 m <sup>3</sup> 未満	計	公	設	
歌志内地区	23	8	31	0		
消防署	35	3	38	1		
合 計	58	11	69	1		

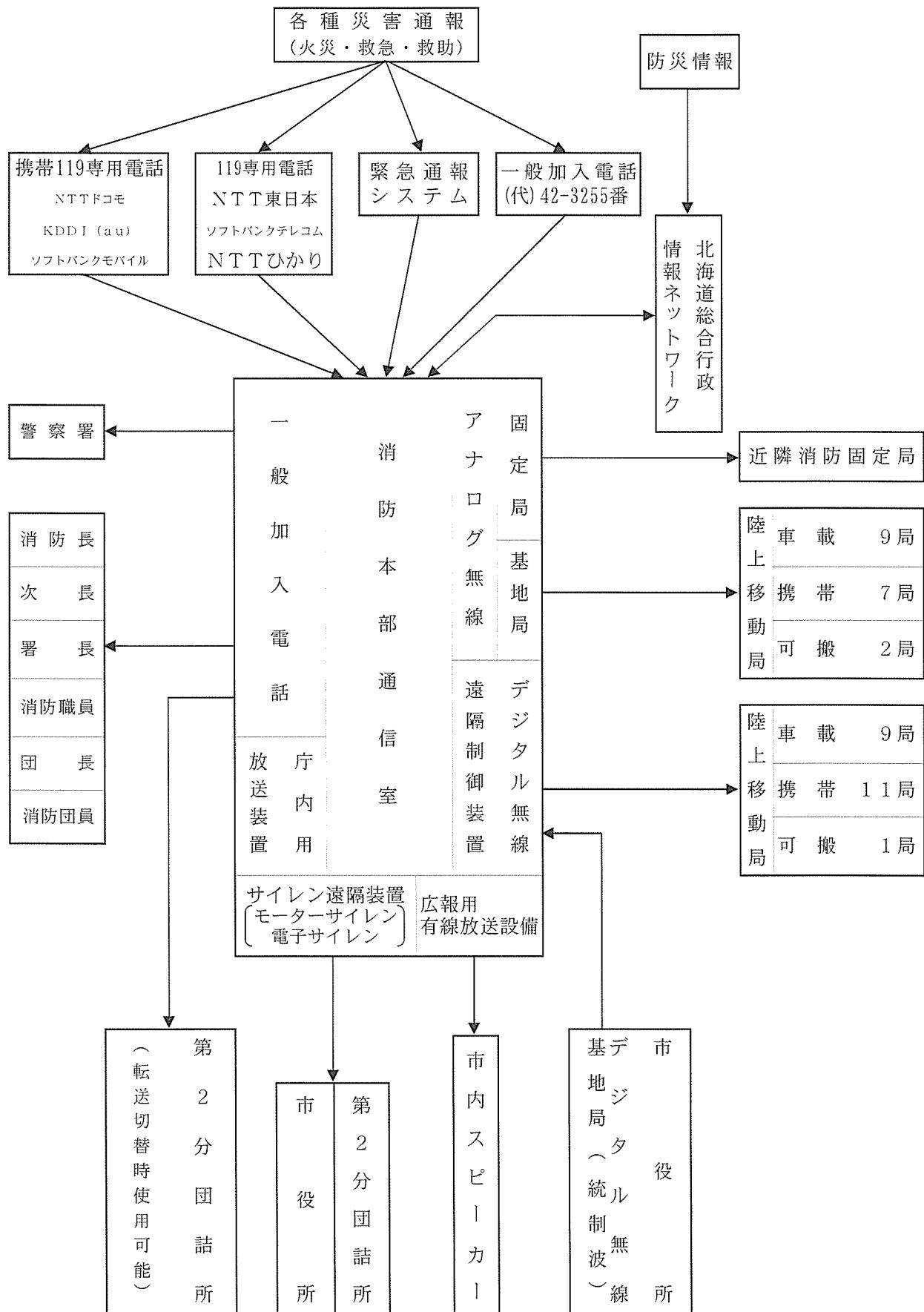
(4) 消防庁舎

名 称	所 在 地	構 造	建面積	延面積	主たる施設	竣 工 年 月 日
本 部 本町 消 防 署	1027番地55	鉄骨・鉄筋コンクリート造 地下1階付平屋建	1,134.00m <sup>2</sup>	1,368.63m <sup>2</sup>	出動表示灯 ホース洗浄機 ホース乾燥機 気象観測施設 有線放送設備 サイレン吹鳴遠隔装置 排気ガス排出装置 自家発電設備 自動火災報知設備	平成23年10月13日
第2分団 詰 所	神威43番地	鉄筋コンクリート造 2階建	222.35m <sup>2</sup>	407.01m <sup>2</sup>	有線放送設備 排気ガス排出装置	昭和36年5月30日

(5) 消防職員住宅

名 称	所 在 地	棟 数	戸 数	建面積	延面積	構 造
消防吏員待機宿舎	本町50番地	1	4	133.2m <sup>2</sup>	253.5m <sup>2</sup>	コンクリートブロック 2階建 (昭和54年11月12日竣工)

(6) 通信施設系統図



(7) 通信・気象観測施設

種別	名 称	数 適	要
電	1 1 9 番 専 用 電 話	8	本部通信室に設置 (NTT 2、NTTひかり 2、ワタバケテレコム 2、携帯電話直接受信 2)
	一 般 加 入 電 話	4	本部 3 分団詰所 1 (転送切替時使用可能)
	緊 急 通 報 シ ス テ ム 「ふれあいネットワーク」	1	NTT SR10-VI 一式 本部通信室に設置 (2回線・端末56台)
話	フ ア ク シ ミ リ	2	本 部 FAX番号 0125-42-5210 分団詰所FAX番号 0125-42-3119
	メ ー ル ア ド レ ス	1	utasyou@sirius.ocn.ne.jp
	北海道総合行政情報ネットワーク	1	本部通信室に設置
消	デ ジ タ ル 無 線	22	基 地 局 (統制波3波) 20W 1局 陸 上 移 動 局 車載型 (統制波3波・主運用波7波) 10W 9局 携帯型 (統制波3波・主運用波7波) 5W 11局 可搬型 (統制波3波・主運用波7波) 10W 1局
防			固 定 局 (全国共通波) 10W 1局
無	ア ナ ロ グ 無 線	20	基 地 局 (全国共通波・市町村波) 10W 1局 陸 上 移 動 局 車載型 (全国共通波・市町村波) 10W 9局 携帯型 (全国共通波・市町村波) 5W 6局 携帯型 (全国共通波・市町村波) 1W 1局 可搬型 (全国共通波・市町村波) 10W 2局
線	簡 易 無 線 電 話	9	トランシーバー 本 部 4 (消防ポンプ車2、指揮広報車2) 分団詰所 5 (消防ポンプ車3・広報搬送車2)
放	序 内 用 放 送 装 置	1	本 部 240W
送	広 報 用 有 線 放 送 設 备	2	本 部 120W×3 分団詰所 120W×4
信	モ ー タ ー サ イ レ ン	2	出 力 (10馬力・自動吹鳴機付) 市役所屋上・分団詰所に設置
号	モーターサイレン遠隔装置	2	本部通信室に設置
装	電 子 サ イ レ ン	2	広報用有線放送設備により拡声 (市内一円) 本 部・分団詰所に設置 (増設アンプ)
置	気 象 観 測 デ ー タ 監 視 シ ス テ ム (ウェザーステーションOTW-2006)	1	本部通信室に設置 (温度計、湿度計、気圧計、風向風速計、雨量計) デスクトップPC一括表示

(8) 緊急通報システム

① ふれあいネットワーク（消防センター）

名 称	数	適 要	※平成4年10月1日運用開始
加入回線 INSネット64 (NTT回線)	1回線 1回線	緊急通報受信及び様態確認、協力員等発信回線 デジタル通話路2CH ダイヤルアップルーター(Ipmate 1600RD)	
受信装置	1台	NTT SR10-VI3.0 通報蓄積 最新の99件 自動発着信接続方式 通信制御機能	
	一式	コンピューター本体 (Core 2 Duo 3 GHz. メモリ: 1 GB) HDD 80 GB. OS Windows XPPro 最大処理端末機器 (20,000端子)	
表示処理装置	1台	モニタ (17インチカラーディスプレイ 液晶)	
	1台	プリンター (EPSON LP-S100)	
	1台	イメージスキャナー (Canon LIDE30)	
	1台	MOドライブ (I-Oデータ MOA-iu640A)	
無停電電源装置	1台	UPS-750 (APC社) 受信装置 処理装置の各1台構成で約30分維持	

② 発信種別通報

種 別	月 别	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
緊急ボタン		1							1	1	1		1	5
手元ボタン				1			1	2						4
ペンドント														0
火災センサー														0
ガスセンサー					1			1	2	1			1	6
その他（停復電含）		1						11			2		2	16
相談ボタン														0
合 計		2	0	1	0	1	1	14	3	2	3	0	4	31

③ 処理別回数

種 別	月 别	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
救急車出場		1				1	1			1	1		1	6
消防車出動														0
出向調査								4			1			5
協力員要請														0
合 計		1	0	0	0	1	1	4	0	1	2	0	1	11

火災と救急・救助

## 1. 火災概況

年		平成26年		平成25年	
区分		内訳	合計	内訳	合計
火災件数	建物火災	1 件		1 件	
	林野火災	0 件		0 件	
	車両火災	0 件	1 件	0 件	1 件
	その他火災	0 件		0 件	
焼損面積	全 燃	7 m <sup>2</sup>		106 m <sup>2</sup>	
	半 燃	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>	
	部 分 燃	(105) m <sup>2</sup>	7 (105) m <sup>2</sup>	0 (4) m <sup>2</sup>	106 (4) m <sup>2</sup>
	ぼ や	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>	
損害見積額	車 両	0 台	0 台	0 台	0 台
	林 野	0 a	0 a	0 a	0 a
	建 物	210千円		1, 543千円	
	収 容 物	344千円	554千円	2, 140千円	3, 683千円
損害見積額	車 両	0千円		0千円	
	そ の 他	0千円		0千円	
	火災1件当	554千円		3, 683千円	
	市民1人当	145 円		913 円	
焼損棟数	1世帯当	259 円		1, 662 円	
	全 燃	1 棟		1 棟	
	半 燃	0 棟		0 棟	
	部 分 燃	1 棟	2 棟	2 棟	3 棟
罹災世帯数	ぼ や	0 棟		0 棟	
	全 損	0 世帯		1 世帯	
	半 損	0 世帯	1 世帯	0 世帯	2 世帯
罹災人員	小 損	1 世帯		1 世帯	
	全 損	0 人		2 人	
	半 損	0 人	2 人	0 人	6 人
死傷者数	小 損	2 人		4 人	
	死 者	0 人	1 人	0 人	0 人
	負 傷 者	1 人		0 人	

※火災報告取扱要領に準じ小数点以下四捨五入、焼損面積（ ）は表面積

※平成26年12月末人口3,833人、世帯数2,143世帯

## (1) 平成26年火災記録(出火率2.6)

番号	出火月日	出火知時刻	発覚方法	火場所	焼損面積(m <sup>2</sup> )	焼損程度	焼損車両	焼損建物	見積額(千円)計	焼損棟数	罹災世帯数	死者者数	負傷者数	火原原因	天気	風向	風速(m/s)	湿度(%)	温湿度	気象状況	
1	1月15日	12:05	119	本町284番地2	7 m <sup>2</sup>	全焼	210	344	554	1	1	1	2	1	不明	晴	—	0	53.5	-2.7	

※ 出火率(人口10,000人あたりの出火率) = 出火件数÷人口×10,000人  
 ※ 平成26年12月末人口 3,833人

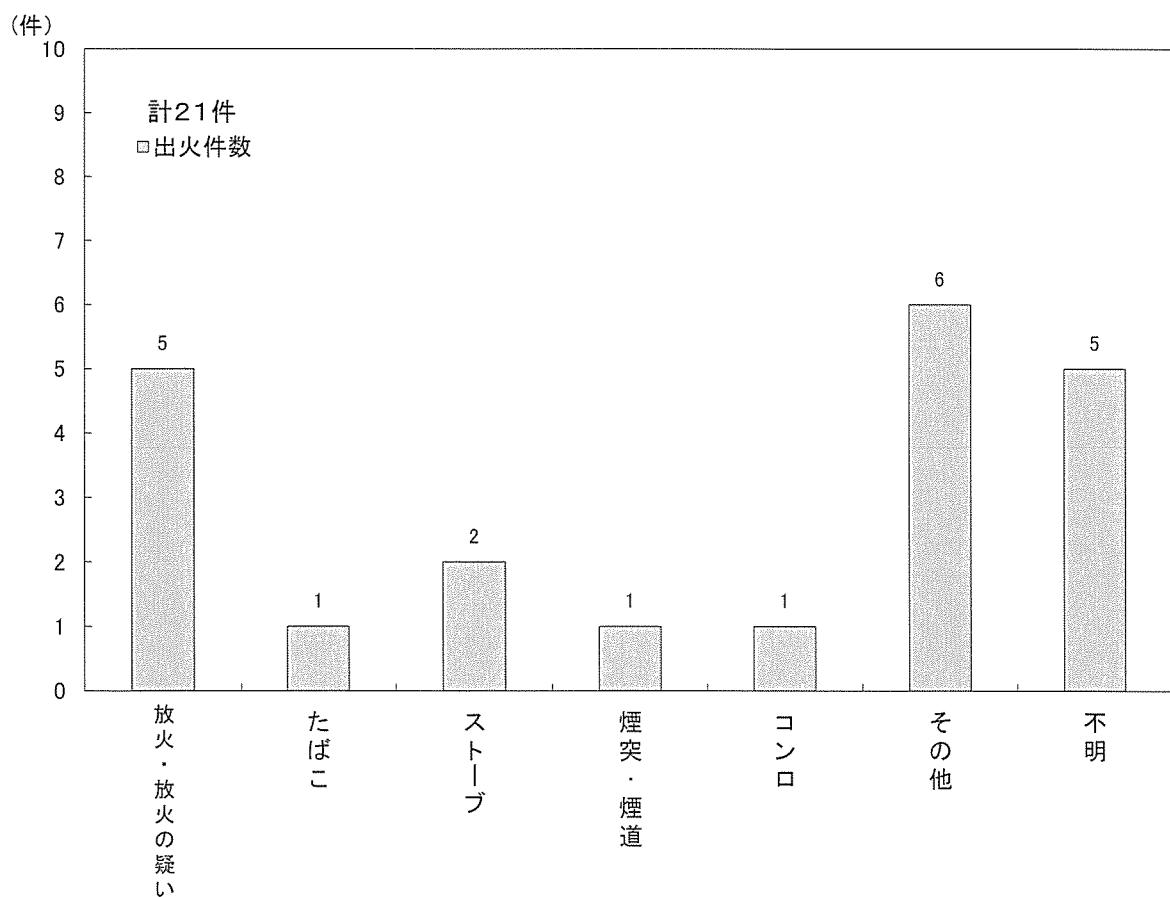
(2) 既往10カ年月別火災発生状況

年別	種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
17	建物火災										2			2
	林野火災													0
	車両火災					1								1
	その他火災													0
18	建物火災												2	2
	林野火災					1								1
	車両火災													0
	その他火災													0
19	建物火災						1	1	1		1	1	1	6
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
20	建物火災		1	1	1									3
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
21	建物火災													0
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災								1					1
22	建物火災	2												2
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
23	建物火災													0
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
24	建物火災										1			1
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
25	建物火災									1				1
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
26	建物火災	1												1
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0

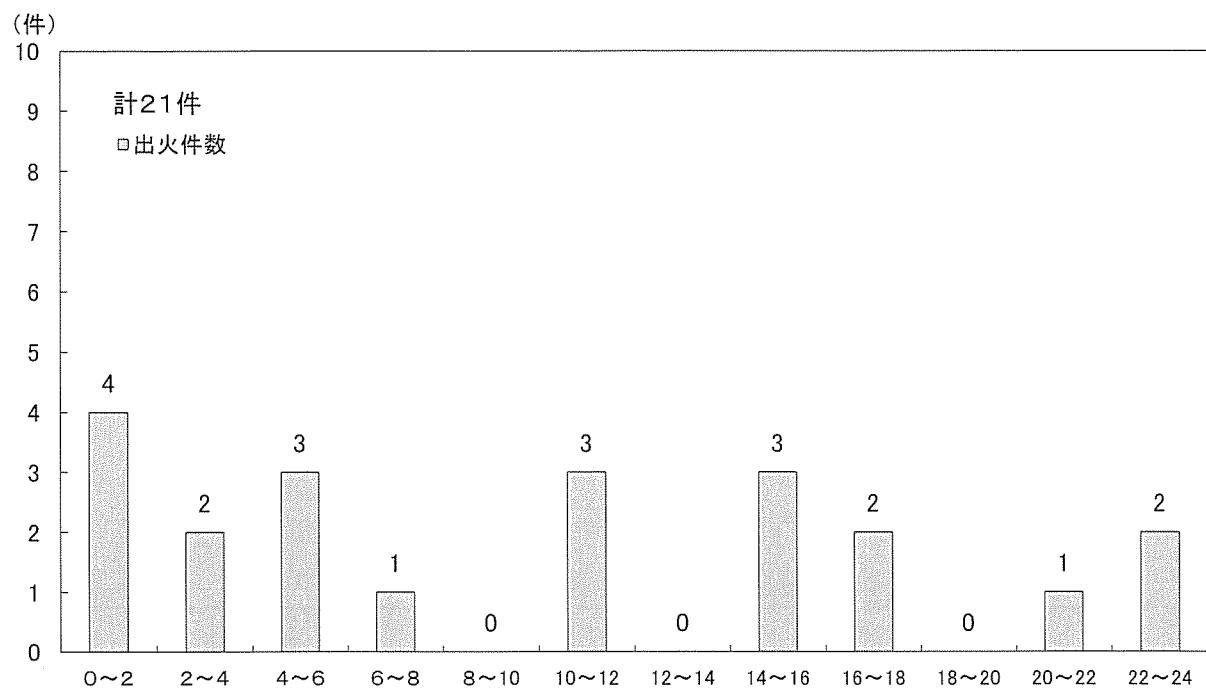
(3) 既往10カ年火災状況

年	火 災 種 別				焼 損 状 況				死 者	負 傷 者
	建物	林野	車両	その他	計	床面積 (m <sup>2</sup> )	表面積 (m <sup>2</sup> )	台 アール (a)	損害額 (千円)	
H17	2	1		3		64	1		4,172	
H18	2	1		3		37		5	2,957	1 2
H19	6			6		408	40		19,176	1
H20	3			3		251	1		14,862	
H21			1	1						
H22	2			2		243			1,742	2
H23				0						
H24	1			1		0	9		9,503	
H25	1			1		106	4		3,683	
H26	1			1		7	105		554	1
計	18	1	1	1	21	1,052	223	1	56,649	4 3

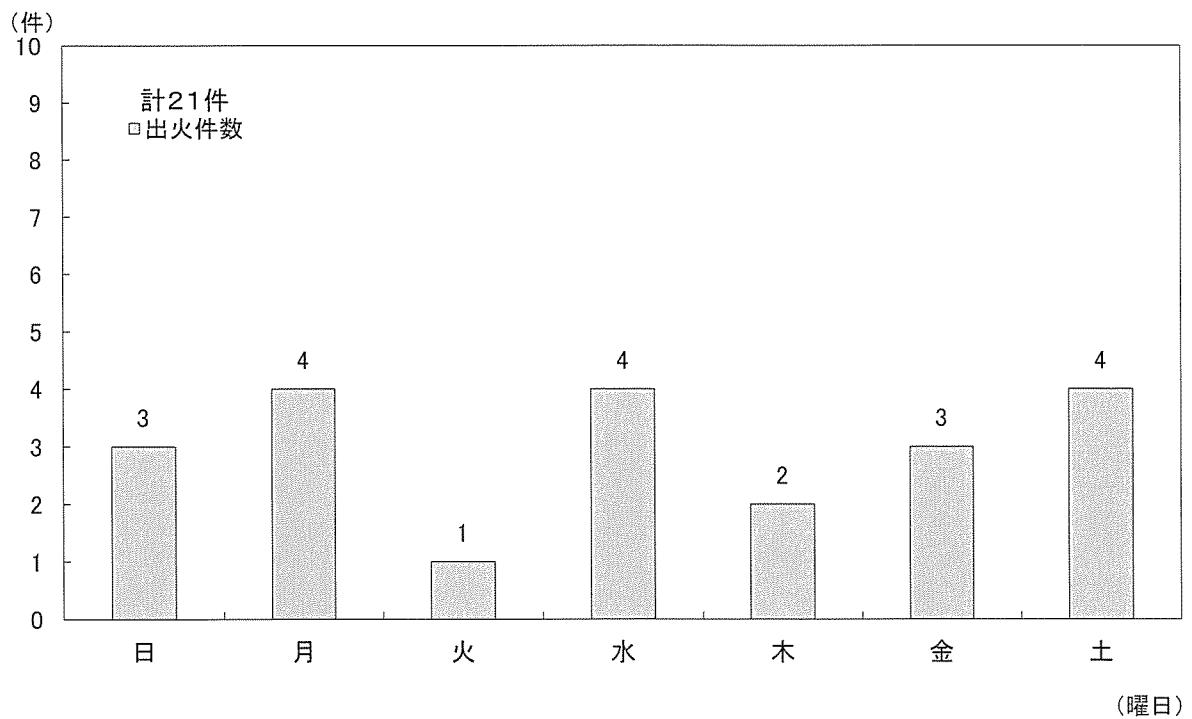
(4) 既往10カ年原因別出火件数



(5) 既往10カ年時間帯別火災発生状況



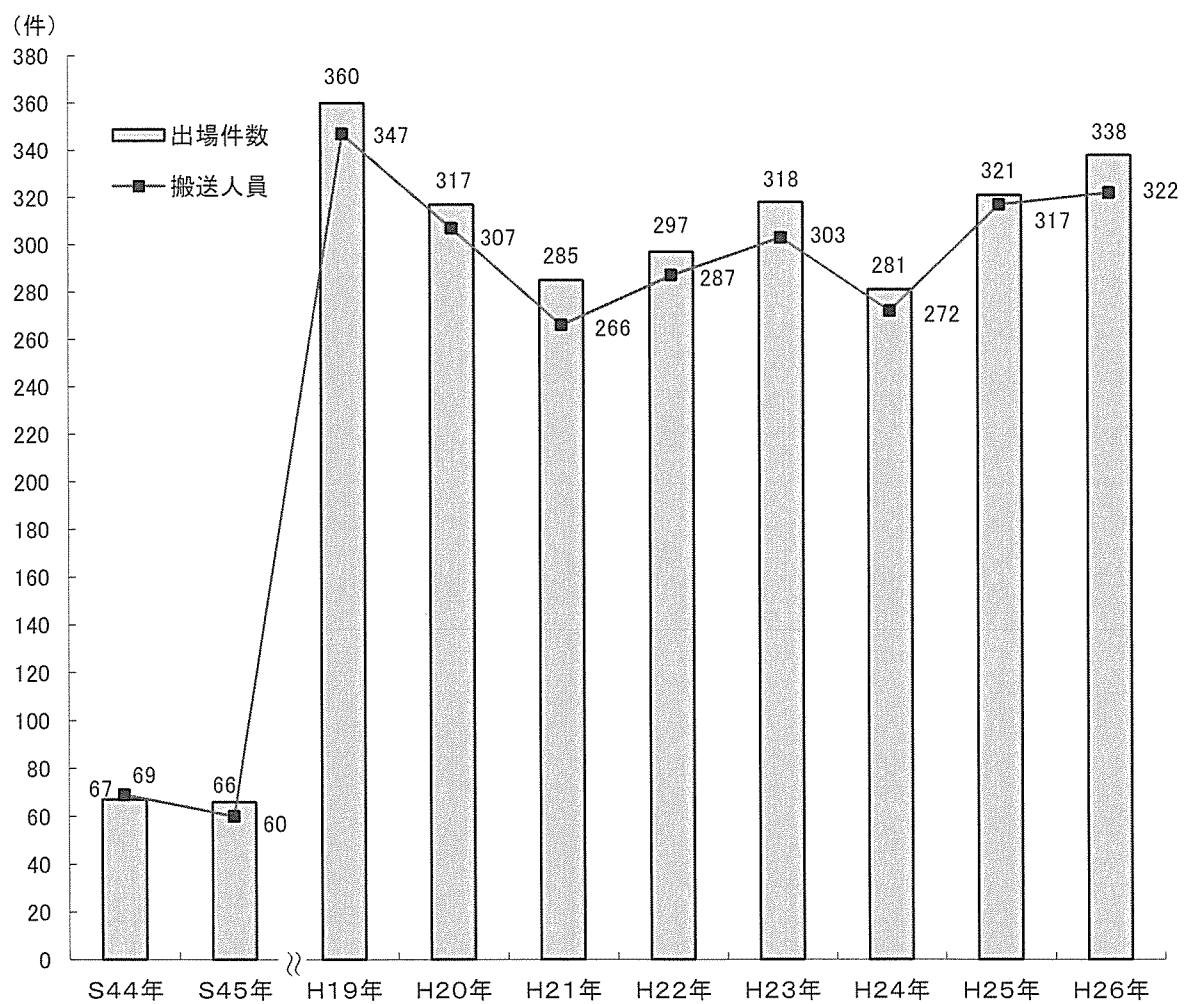
(6) 既往10カ年曜日別火災発生状況



## 2. 救急概況

出場件数	搬送人員	不搬送件数
338	322	17
	男 141 女 181	

区分	年	S44年	S45年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
		出場件数	搬送人員								
	出場件数	67	66	360	317	285	297	318	281	321	338
	搬送人員	69	60	347	307	266	287	303	272	317	322



## (1) 月別救急出場状況

月 別 分	区 事 故 種	合											
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
1	出場件数				2	2	4			17	4	29	
月	搬送人員				3	2	4			17	3	29	
2	出場件数				1		3			12	3	19	
月	搬送人員						3			12	2	17	
3	出場件数				2	7	9	1	24	3		46	
月	搬送人員				1	7	9	1	23	2		43	
4	出場件数				1		2		24	2		29	
月	搬送人員				1		2		24	1		28	
5	出場件数						3	1	27	4		35	
月	搬送人員						3	1	27	2		33	
6	出場件数						3		24	1		28	
月	搬送人員						3		23	1		27	
7	出場件数						6	1	15	4		26	
月	搬送人員						6	1	15	3		25	
8	出場件数						1	8		19	3	31	
月	搬送人員						1	8		19	2	30	
9	出場件数						4			15	1	20	
月	搬送人員						4			15		19	
10	出場件数				2	1	5			24	3	35	
月	搬送人員				2	1	5			23	1	32	
11	出場件数						4	1	11	1		17	
月	搬送人員						4	1	11	1		17	
12	出場件数				2	1	1	3		16		23	
月	搬送人員				1	1	1	3		16		22	
合 計	出場件数	0	0	0	10	2	11	54	0	4	228	29	338
	搬送人員	0	0	0	8	2	11	54	0	4	225	18	322

(2) 時間別救急出場状況

事故種別 時間別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0 ~ 2							5	1	5			11
2 ~ 4							3			5		8
4 ~ 6				1			2			18	2	23
6 ~ 8							3			18	2	23
8 ~ 10				2		3	5	1	40	1		52
10 ~ 12				2		6	6	1	30	6		51
12 ~ 14				2		2	6	1	22	6		39
14 ~ 16				1			6			17	4	28
16 ~ 18					2		5			18	6	31
18 ~ 20					2		7			27	1	37
20 ~ 22							3			17	1	21
22 ~ 24							3			11		14
合計	0	0	0	10	2	11	54	0	4	228	29	338

(3) 曜日別救急出場状況

事故種別 曜日別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
月				4	1	3	7		1	37	3	56
火				2	1	1	5			24	7	40
水				3		1	9			44	5	62
木							10		1	33	4	48
金				1		3	8		1	19	5	37
土						1	8		1	41	2	53
日						2	7			30	3	42
合計	0	0	0	10	2	11	54	0	4	228	29	338

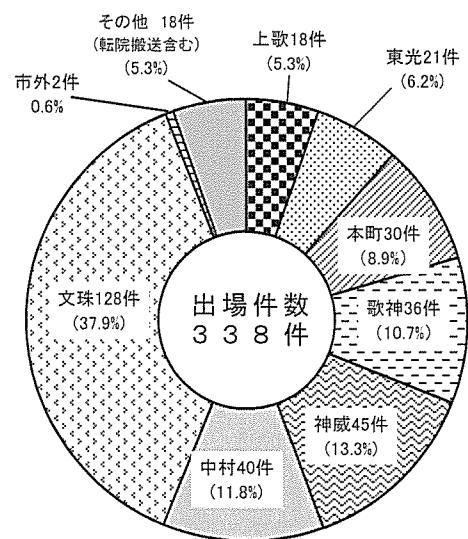
(4) 年齢・性別搬送状況

性別	年齢									合 計
		0~10	11~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71~	
男		5	10	2	5	12	9	24	74	141
女		2	2	3	2	4	8	24	136	181
合 計		7	12	5	7	16	17	48	210	322

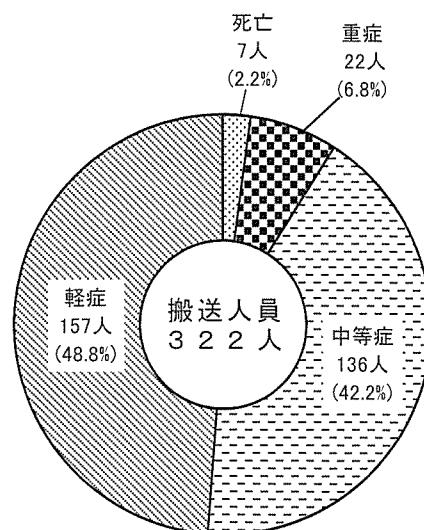
(5) 事故種別・性別搬送状況

性別	事故種別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計	
		災	害	難	事	故	災	競	傷	自	急		
男						5	2	9	22	3	95	5	141
女						3	2	32		1	130	13	181
合 計		0	0	0	8	2	11	54	0	4	225	18	322

(6) 地区別発生状況



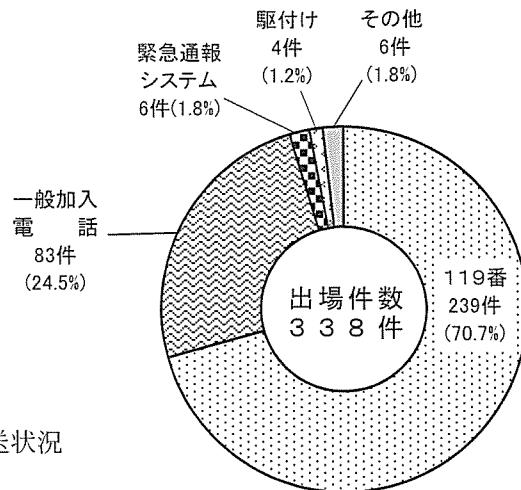
(7) 傷病程度別搬送状況



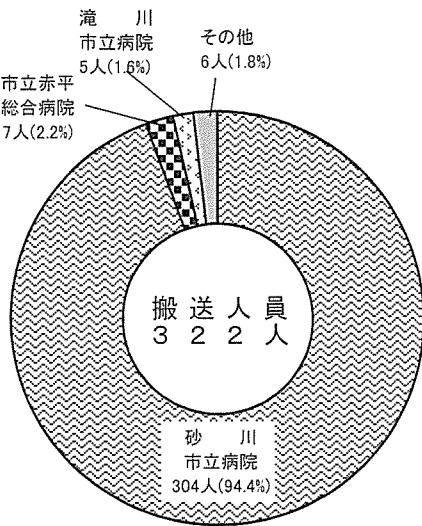
(8) 救急隊員の行った応急処置件数

事種 故別	応 急 処 置 象 人 員	合 計																						
		止	固	人	心	心	酸	氣	保	被	シ	血	聽	血	心	氣	除	葉	静	脈	剤			
		マ	ツ	肺	マ	素	道	マ	ラ	ヨ	ツ	中	酸	素	飽	和	度	測	管	細	路	投		
		工	ツ	呼	サ	蘇	吸	確	鼻	頭	ク	ツ	電	中	酸	素	飽	和	度	管	細	路	投	
		人	人	人	人	人	吸	吸	エ	鏡	ク	ツ	電	中	酸	素	飽	和	度	管	細	路	投	
		員					定	吸	ア	・	パ	ン	細	中	酸	素	飽	和	度	管	細	路	投	
							ジ	ジ	ウ	・	バ	ン	管	中	酸	素	飽	和	度	管	細	路	投	
							器	器	エ	・	・	・	・	中	酸	素	飽	和	度	管	細	路	投	
							生	保	イ	・	・	・	・	中	酸	素	飽	和	度	管	細	路	投	
							入	保	イ	・	・	・	・	中	酸	素	飽	和	度	管	細	路	投	
							保	イ	・	・	・	・	・	中	酸	素	飽	和	度	管	細	路	投	
急 病	225	12			5 (4)	67	37		(5)	85	3	218	2	219	66	5	4	2		725				
交通事故	8	4				2	2			4	1	8	8							29				
一般負傷	54	5	26			7	4			22	8	52	52	3						179				
その 他	35	2	10			1	15	12		(1)	10	3	34	1	33	6	1	1		129				
合 計	322	7	52	0	0	0	6 (4)	91	55	0	0	(6)	121	15	0	312	3	312	75	0	6	5	2	1,062

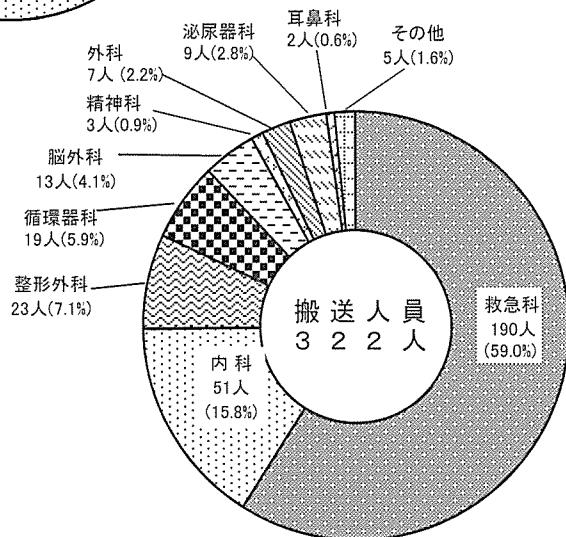
(9) 覚知別受信状況



(10) 医療機関別搬送状況



(11) 担当科別搬送状況



(12) 既往 5 カ年事故種別出場状況

年別	事故種別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
平成 22 年		0	0	0	9	4	3	48	0	5	199	29	297
平成 23 年		0	0	0	3	2	5	39	0	2	235	32	318
平成 24 年		0	0	0	3	1	16	44	2	3	187	25	281
平成 25 年		0	0	0	5	1	8	47	1	1	236	22	321
平成 26 年		0	0	0	10	2	11	54	0	4	228	29	338

(13) 普通救命講習会実施状況

年別	区分	実施回数	受講人員			合計
			男	女		
平成 22 年		4	27	31		58
平成 23 年		6	31	46		77
平成 24 年		2	22	16		38
平成 25 年		4	26	35		61
平成 26 年		2	16	28		44

(14) 一般救急講習会実施状況

年別	区分	実施団体						実施回数	受講人員
		事業所	福祉施設	観光施設	町内会	学校関係	その他		
平成 22 年		0	2	0	1	0	2	5	55
平成 23 年		0	1	0	0	1	4	6	121
平成 24 年		2	3	1	0	2	2	10	131
平成 25 年		2	1	2	2	1	6	14	154
平成 26 年		2	0	1	0	0	5	8	95

### 3. 救助概況（既往 5 カ年）

年	発 生 月 別 日	覚 知 時 刻	発 生 場 所	事 故 種 別	出 動 車 両	出 動 人 員	救 助 人 員	使 用 資 機 材
22	3月13日	21:00	文珠 149番地	交通事故	タンク車	2	0	なし
年	8月11日	16:36	東光 30番地	労働災害	タンク車	3	1	なし
	3月 9日	19:05	文珠 156番地7	その他の	タンク車	6	1	2連梯子
23	9月15日	12:25	中村 1001番地	その他の	タンク車	2	1	バスケットストレッチャー
年	9月27日	14:10	東光 71番地4	その他の	タンク車	3	1	2連梯子・30mロープ
	11月 1日	9:58	神威 1015番地	交通事故	タンク車	3	1	なし
24	救助事案なし							
年	3月24日	15:59	上歌 新歌志内トンネル	交通事故	タンク車 指揮広報車	3	1	なし
25	5月21日	16:04	文珠 1028番地	交通事故	タンク車	5	1	なし
年	11月30日	8:56	神威 1009番地	交通事故	タンク車	8	1	かぎ付梯子・50mmホース
	1月10日	13:48	中村 1006番地	交通事故	タンク車 指揮広報車 指令車	6	1	なし
	2月26日	18:35	文珠 159番地3	交通事故	タンク車 指令車	7	0	なし
26	3月10日	10:38	神威 1014番地	交通事故	タンク車 指揮広報車 指令車	6	0	50mmホース
	3月17日	8:17	神威 274番地1	自損行為	タンク車 指揮広報車 指令車	9	1	ガス検知器・送排風機
	11月15日	23:58	神威 168番地1	その他	タンク車	2	1	3連梯子・20mロープ バスケットストレッチャー

予 防 行 政

1. 月別建築同意・通知処理状況

月	別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
同 意 件 数		1								1				2
工 事 別	新 築					1								1
	増 築										1			1
	用 途 変 更 及 び 計 画 変 更													0
	修 繕													0
	移 転													0
構 造 別	耐 火 構 造													0
	準 耐 火 構 造					1								1
	木 造										1			1
	そ の 他													0
用 途 別	(1) イ 劇 場 ・ 映 画 館 等													0
	口 公 会 堂 ・ 集 会 場													0
	イ キ ャ バ レ ー 等													0
	(2) イ 遊 戲 場 等													0
	口 遊 戲 場 等													0
	ハ 性 風 俗 関 連													0
	二 カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等													0
	(3) イ 待 合 ・ 料 理 店 等													0
	口 飲 食 店													0
	(4) 百 貨 店 ・ 店 舗 等													0
	(5) イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等													0
	口 寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅													0
	イ 病 院 ・ 診 療 所 等													0
	(6) イ 老 人 短 期 入 所 施 設 等													0
	口 老 人 デ イ サ ビ ス セン タ - 等													0
	二 幼 稚 園 等													0
	(7) 学 校 等													0
	(8) 図 書 館 ・ 博 物 館 等													0
	(9) イ サ ウ ナ 浴 場 等													0
	口 イ 以 外 の 浴 場													0
	(10) 停 車 場 ・ 発 着 場 等													0
	(11) 神 社 ・ 寺 院 等													0
	(12) イ 工 場 ・ 作 業 場													0
	口 映 画 ス タ ジ オ 等													0
	(13) イ 車 庫 ・ 駐 車 場 等													0
	口 格 納 庫 等													0
	(14) 倉 庫													0
	(15) そ の 他 の 事 業 場					1								1
	(16) イ 複 合 用 途													0
	口 イ 以 外 の 複 合 用 途													0
	專 用 住 宅										1			1
	自 家 用 車 庫 ・ 倉 庫													0
	そ の 他													0

通 知 書	月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	件 数									1	1	1		3

## 2. 消防業務処理状況

区分	件 数	受付件数	処理件数
危 險 物 關 係	製造所等設置許可申請 製造所等完成検査申請 製造所等変更許可申請 危険物保安監督者選任届 危険物保安監督者解任届 製造所等廃止・休止・変更届 少量危険物貯蔵・廃止届 ボイラー等設備設置届 防火対象物使用開始届 露店等の開設届出書 催物開催届 温風暖房機設置届 圧縮アセチレンガス等廃止届出書 変電・蓄電池設備設置届 屋内消火栓設備設置届 自動火災報知設備設置届 消防機関に通報する火災報知設備設置届 非常警報設備設置届 スプリンクラー設備設置届 誘導灯・誘導標識設置届 消火器設置届 発電設備等設置届 揚煙等の行為の届 道路工事届 煙火打上げ・仕掛け届	1 3 2 2 2 5 3 1 3 15 2 0 0 2 1 0 1 0 0 2 1 1 0 1 0 10 8 9	1 3 2 2 2 5 3 1 3 15 2 0 0 2 1 0 1 0 0 2 1 1 0 1 0 10 8 9
合	計	74	74

### 3. 防火管理者業務状況

項別	区分 選任義務 対象物数	選 任	変更に伴う 選任届出	変更に伴う 解任届出	変更に伴う 消防計画	消防訓練	設備点検	施 告
						実 施	報 告	
(1)	口 7	7	1	1	2	9	2	
(3)	口 1	1				1	1	
(5)	イ 3	3			2	6	3	
	口 1	1				2	1	
	イ 2	2			1	4	1	
(6)	口 5	5	1	1	1	10	7	
	ハ 3	3				6	3	
	二 1	1				2	1	
(7)	3	3	1	1	1	4	2	
(8)	3	3			2	3	3	
(11)	8	8				4	4	
(15)	7	7			2	3	6	
(16)	イ 5	5	1	1	3	7	4	
合 計	49	49	4	4	14	61	38	

### 4. 危険物製造所等現在数調

区 分	種 別	設 置 数			貯 �藏 又 は 取 扱 数 量 (t)					保 安 監 督 者	
		自 家 用	営 用	合 計	第 4 類		第 5 類				
					第 1 類 石油類	第 2 類 石油類	第 3 類 石油類	第 4 類 石油類	有 機 過酸化物		
貯 蔵 所	屋 内 貯 藏 所	1	1	2	600	600	16,800	9,000	100 (kg)	27,000 100 (kg)	1
	屋 内 タンク 貯 藏 所	3		3		12,480				12,480	
	地 下 タンク 貯 藏 所	18	1	19		237,400	153,500			390,900	2
	移 動 タンク 貯 藏 所	4	8	12		37,150	3,000			40,150	
取 扱 所	屋 外 貯 藏 所	1		1					24,000	24,000	
	給 油 取 扱 所	3	4	7	65,000	123,900	2,000	7,800		198,700	7
	一 般 取 扱 所	5	1	6		78,800	15,000			93,800	1
	小 口 詰 替 専 用 一 般 取 扱 所			1	19,200					19,200	1
合 計		35	16	51	65,600	509,530	190,300	40,800	100 (kg)	806,230 100 (kg)	12

### 5. 危険物規制事務手数料

手数料 (円)	区 分		仮使用承認手数料	設置許可手数料	変更許可手数料	完成検査手数料
	合 計		5,400	52,000	39,000	45,500

## 6. 防火広報活動

春の火災予防運動（4月20日～4月30日）

秋の火災予防運動（10月15日～10月31日）

歳末警戒（12月25日～12月31日）

区分	回数	活動の内容
消防車による広報	35	春・秋の火災予防運動期間、歳末警戒
新聞等の掲載	20	市広報紙「うたしない」掲載、災害対応型自動販売機電光掲示板、消防本部電光掲示板に掲示
防火ポスターの配布	2	春・秋の火災予防運動期間、防火対象物に配布
放送施設の利用	116	春・秋の火災予防運動期間、歳末警戒、お盆・夏休みに火災予防広報を実施
消防訓練	61	病院、診療所、学校、ホテル、老人福祉施設、身体障害者更生施設、旅館等
サイレン吹鳴	4	春・秋の火災予防運動期間に実施
事業所啓発	1	団本部団員による歳末防火広報
防火座談会	5	春・秋の火災予防運動期間に実施
防火グラウンドゴルフ大会	1	秋の火災予防運動期間に実施。会場に防火ポスター及びのぼりを掲示し、参加者に防火ティッシュを配布



歌志内市消防シンボルキャラクター  
<ホルンくん>